

報道関係各位

2016年10月26日

大東建託グループ 気候変動への取り組み CDPの最高評価「Aリスト」に初選定

大東建託グループは、持続可能な経済を実現させる活動を行う国際非営利団体CDPにより、2015年度の気候変動に関する取り組みが評価され、最高評価である「The Climate A List 2016(Aリスト)」企業に選定されましたのでお知らせします。

■CDP(カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)とは

CDPIは、運用資産総額100兆米ドルを有する827の機関投資家を代表し、全世界で5,000社以上(日本企業:500社)を対象に、温室効果ガスの排出量削減などの気候変動に関する取り組みや、その情報開示について評価しています。

企業の温室効果ガスに関する取り組みと情報開示は、[A]・[A-]～[D]・[D-]の8段階で評価されます。2016年度は世界で193社(日本企業:22社)が「Aリスト」に選定され、当社グループは初めてその1社となりました。

■大東建託グループの気候変動への取り組みについて

当社グループは、2007年より環境省のガイドラインに基づく独自の環境経営システムをスタートし、気候変動に対応しています。特に温室効果ガス排出量において、各支店事務所等に設置している照明のLED化や、営業車両へのテレマティクス導入によるエコドライブの推進により、2015年度の総排出量を削減しました。

さらに、環境への取り組みに関する情報は、正確性および信頼性を確保するため、外部機関の審査・検証を受けた上で開示しています。これらの取り組みが評価され、この度、最高評価である「Aリスト」に選定されました。



【CDP CLIMATE A LIST 2016 ロゴ】

今回のCDPIによる評価は、これまでの環境負荷低減活動や、環境に関する情報開示の取り組みが評価されたものと考えています。今後も、当社グループの企業活動において、持続的な社会形成に寄与し、気候変動問題や資源課題に取り組んでまいります。

＜本件に関するお問い合わせ＞
大東建託株式会社 経営企画室 畑中・和賀
E-MAIL: he072032@kentakku.co.jp
TEL: 03-6718-9174